

2023
vol.238

12月号

ひびきあい



食と笑顔でつながる身近な応援団

JA北ひびき



●特集

農協法公布記念日にあたっての組合員・役職員へのメッセージ

●できごと

上川地区JA青年部大会の開催

繋がりが、支え合う。
農業は一人ではできません。



今回は平成23年に多寄町の実家にて就農した伊藤正博さんにお話をうかがいました。

伊藤さんは妻・佑実子さん、両親の博己さん・澄子さんと共に水稲（もち）、甜菜、大豆、ネギ、小麦、小カブ等を約29haに作付けしています。

伊藤さんには平成26年にもこのコーナーにでていただきましたが、9年が過ぎどのように変わってきたか等を伺いました。

農業をとりまく価値観の変化に、対応できる意識を持つていたい。

伊藤さんは、就農前は運送関係の仕事に就いていましたが、将来のことをいろいろと考え平成23年に実家の農業を継いだそうです。前回お話を伺ったのは就農3年目の頃で、その後経験を重ね環境も大きく変化があったようです。

「父から経営を任せられ、営農の計画等は私が考えるようになったことと、結婚して子供が生まれ、家族が

今月の表紙



【メニュー】

士別の牛コロコロステーキ、和寒かぼちゃのポタージュ、うま塩サラダ、米飯（氷点の舞「ななつぼし」、牛乳）

11月14日、士別小学校4年生を対象に「ふるさと給食」が実施されました。児童たちはJA北ひびき管内で生産された食材をふんだんに使用した給食をおいしそうに食べてくれました。

当日は、榎本組合長、笹村専務、吉井常務が児童たちと一緒に給食を味わいました。

目次 (contents)

- アイ・アム・ア・ファーマー
伊藤 正博さん
(士別市多寄町)…………… ②
農協法公布記念日にあたっての
組合員・役職員へのメッセージ… ④
農業者年金…………… ⑤
- できごと…………… ⑥
- 地域のニュース…………… ⑦
剣淵「穀類乾燥調製施設で大豆を受入」
「剣淵神社で新穀感謝祭を開催」
士別「青年部・女性部が常勤役員と意見交換会を実施」
和寒「和寒小学校児童がキャベツの収穫を体験」
多寄「士別市集落多寄地区で籾穀収集事業を実施」
朝日「女性部が研修会を実施」
- ひびきあいの広場
おたより…………… ⑩
俳句・短歌…………… ⑪
組合員資格確認のお願い………… ⑪
- お知らせ 他
理事会報告…………… ⑫
金融部からのお知らせ………… ⑬
- クロスワードパズル…………… ⑮
げんまいくん
- 牛乳をもっと食卓に…………… ⑮
『親子丼の新定番ホワイト親子丼』

増えたことがとても大きな変化だと
思います」と伊藤さん。
経営者の立場となり、どのような
方向性を目指したのかを伺いました。
「両親共に元気で働けているうち
は、手間のかかるハウスクレタもでき
ますが、それが無理となった時を考
えると、機械を駆使して人手を補え
る畑作に軸を移していこうと考えま
した。それで去年から作付面積を約
2倍近くに広げました。やれるかな
とは思っていましたが、当然ですが
とつても忙しい(笑)。また、今年
は特に温暖化を実感しました。道北
の気候変化に沿って、何をどのよう
に作るかの判断を早めに行っていこ
うと必要だと感じています」。

**田畑を維持していくことは
多くの尊いものごとを
未来に託すことなのです。**

家族を持つことで、農業に対する
考え方にも影響があったそうです。
「農業が未来へ引き継がれるため
に、現在の地域の田畑を維持してい
る私達の活動が大きく影響するはず
だと理解しています。よりよい形
で次の世代に渡したいと考えます。ま
た、強く願っているわけではありま
せんが、成長した子ども達が職業選
択肢の一つと思えるような経営状況に
はしたいですね」と伊藤さん。
地方の豊かな田園風景を今後も保

つには、農家以外の方の新規参入が
必要だと感じているそうです。
「魅力を感じ農業を目指しても、
ハードルの設定が高すぎて諦める
ケースがあると思います。ある程度
公的な組織のバックアップや地域の
支援が必要です。私の住む多寄町の
農家同士は年齢の壁を越えていい関
係で繋がっていますので、あとは仕
組み、制度を整えればということ
です。世界的な食糧危機となっても国内の
食糧でまかなっていくという観念に
立てばできることだと思っております。
ただ、この仕事は憧れだけでは続か
ない、助け助けられて成り立つのが
農業です」と期待を込めて話してい
ただきました。



伊藤 正博さん
いとう まさひろ
士別市多寄町 / 39才

士別高校、放送関係の専門
学校を卒業後、運送業の
企業に勤務し、平成23
年から多寄町の実家にて
就農。JA北ひびき青年
部多寄支部長。妻と男の
子二人の4人家族。
趣味は熱帯魚やしん
しいペットの飼育。

農協法公布記念日にあたっての 組合員・役職員へのメッセージ



北海道農業協同組合中央会
代表理事会長 樽井 功

昭和22年11月19日に農業協同組合法(農協法)が公布され、今年で76年を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、今日に至っております。

新型コロナウイルス感染症の位置付けは本年5月より5類に移行し、コロナ禍以前の日常を取り戻しつつありますが、各農畜産物の消費は依然として低迷しており、さらに、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが、農業経営に与える影響は甚大なものとなっています。

コロナ禍、国際紛争によって、世界の食料需給事情が一変しました。輸出制限を行い、自国の食料を確保する各国の動きが活発化し、世界的な人口増加による食料不足問題など食料争奪戦がすでに始まっています。我が国の食料を安定的にどう確保するのか。今こそ大いに食料安全保障の国民的議論が必要となっています。

JAグループ北海道は、日本の食料基地であるという使命感に立ち、食料の安定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大を両輪として引き続き取り組むことが重要であり、国民の命の源である食を守り続けるにも、まさに新しい農業を築き、未来の世代へ繋いでいかなければなりません。

この厳しい時代だからこそ、国民が必要とし消費する食料はできるだけその国で生産する「国消国産」という考え方は、消費者に知っていただきたい大切なテーマであり、1945年に国連食糧農業機関(FAO)が発足した日、さらに1981年に国連が「世界食料デー」に定めた日である10月16日を、「国消国産の日」として制定し、令和3年に日本記念日協会に登録しました。

今こそ、この国消国産の周知、さらにはJA北海道大会で確認された550万人サポーターづくりを推進するべく、JAグループ北海道が一体となって「アグリアクション北海道」と題した統一した取り組みをしっかりと実践することが必要となります。

最後になりますが、JAグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。

農業者年金

若いうちから!

女性にも!

節税対策にも!



60歳未満
国民年金
第1号被保険者
年間60日以上
農業に従事
以上の条件を満たす方なら
どなたでも加入できます。
詳細はHPにてご案内しております。
お電話でのお問い合わせもお気軽に。

長い老後を最後までサポート!

全額社会保険料控除で大きな節税効果!

保険料国庫補助による手厚い支援!



農業者年金の内容やご相談については、最寄りの農業委員会がJA北びびき各支所営農部門農業者年金窓口または農業者年金基金にお問い合わせください。

独立行政法人農業者年金基金

TEL: 03-3502-3199 (専門相談員)

TEL: 03-3502-3942 (企画調整室)



とごきで

上川地区J A青年部大会の開催

変革の時代へ 他地区の盟友と結束力を高める

11月14日、旭川市トーヨーホテルにて令和5年度上川地区J A青年部大会が開催され、J A北ひびき青年部から14人が参加した。

青年部大会は青年部員盟友一人一人が農業を支えていくという責任を自覚し農業の持つ役割と素晴らしさを広めていき各地区の誇り高き青年の情熱と盟友同士の連携を促し、その責任を果たしていくことを目的として開催している。

始めに、地域を巻き込んだ農業農村の魅力を発信する動画を募り、農業への興味などを消費者へ働きかけることを目的とした30秒のCMコンテストが開催された。

活動実績発表では、土別支部がエントリース、代理で青年部長の渡辺要さんが「農業を愛し、農業に愛された男達！」と題し発表が行われた。土別市・J A北ひびきの概要説明や活動

内容について説明し、今後の農業を取り巻く情勢に対しての思いを伝え優秀賞を受賞した。

懇親会では、アームレスリング大会が行われ、土別支部の前川悠一さんが参加し、並み居る強豪に勝利し見事優勝した。優勝した前川さんは全道J A青年部大会のアームレスリング大会にJ A上川地区青年部代表として参加する。

他にも、農業・青年部活動に対して人一倍熱い情熱を持った盟友を発掘する「純農Boyオーディション」が行われ和寒支部の森田房幸さんが農業に対する熱い想いや、失敗談などユーモアあふれる発表を披露し、会場を盛り上げた。

上川地区の盟友と基調講演で勉強し、懇親会で交流を深めることで仲間づくりや新たな可能性を原動力にして結束力を深めていきJ A北ひびき青年部としても活動の幅を広げていく。



▲活動実績発表する渡辺部長のようす



▲青年組織網領を朗唱するようす



▲熱い想いを話す森田房幸さん



▲アームレスリングをする前川悠一さん

穀類乾燥調製施設で大豆を受入

天候不順乗り越え

9月30日から剣淵町の穀類乾燥調製施設（JA・南地区・東地区・個人委託施設）では大豆の受入・調整が始まっている。

生産者が刈取りした大豆はそれぞれの調製施設に持ち込まれ、水分や粒度・重量を計量した後、乾燥を行い製品として出荷される。

今年大豆は汚れやへん平が多く調整に時間をかけているため例年より遅い12月下旬までの調整が見込まれている。



▲搬入された大豆

担当職員は「今年天候不順により収穫が遅れましたが、より良い製品になるよう作業にあたっています。」と話した。また調整施設従業員は「天候に悩まされることもありましたが今年例年より時間をかけて作業にあたっており、1つでも多く等級の高い製品を作りたい。」と話した。

今年剣淵町では大豆を1120ha作付している。



▲大豆調整の様子

剣淵神社で新穀感謝祭を開催
無事収穫期を迎えたことに感謝

11月24日、剣淵神社本殿（剣淵町旭町）にて令和5年剣淵町新穀感謝祭が開催され精進副組合長ら町内関係団体代表者が参集し丸井直人宮司により斎行された。

新穀感謝祭は、秋の収穫期を無事に迎えられたことへの感謝と翌年春からの農作業が順調に進むことを祈念して毎年この時期に行われている。

初めに精進副組合長より祭詞が述べられ、参拝者により玉串が奉奠された。

農業関係団体からはJA・農民連盟・農業委員会・土地改良区・JA青年部・稲作振興会・特産園芸振興会他各生産団体より代表者が出席し、神棚には剣淵町産うるち・もち米・野菜・豆類・澱粉などが奉納された。

参拝者からは「本年も無事に収穫作業を終えることができた。来年も豊作を願って作業にあたりたい。」と話した。



▲参拝者の様子



▲精進副組合長の祭詞

士別地区 より

青年部・女性部が常勤役員と 意見交換会を実施

今後の事業展開を 見据えた活発な 意見を



▲回答を聞く青年部員の様子



▲答弁する榎本組合長と吉井常務の様子

11月1日、JFA北ひびき本所3階会議

室にて青年部、女性部と常勤役員との意見交換会が開催された。当事業は、平成26年度より青年部・女性部との日常業務や事業運営にあたり活発な意見交換の場を設けていたが、コロナ禍もあり4年ぶりの開催となった。

開会にあたり榎本組合長より「日頃より当JFAの事業運営にご理解とご協力を賜り感謝を申し上げます。今年で合併して20年目を迎え、また第8次中期計画の策定年である。皆さんからのご意見を聞きながら第8次に向けて進めていきたい」と話した。

意見交換会では、青果物や子実コーンといった作物の事業展開や外国人労働者だけではなく日本人の人材確保に力を入れてほしいといった様々な意見が出て、活発な意見交換が行われた。

今後とも当事業は継続して行い、青年部女性部の出席者は今後も事業運営に携わっていききたいと話した。

和寒地区 より

和寒小学校児童が キャベツの収穫を体験

キャベツの 越冬に挑戦!



▲収穫作業の様子



▲座学の様子

11月13日、和寒町農業活性化センターにて、青年部和寒支部（二上益由支部長・部員29名）は和寒小学校3年生を対象に、子供農業体験のキャベツ切り取り作業を実施した。

開催にあたり、脇澤組織強化委員長より「皆さんが植えたキャベツがとても大きく育ちました。今日はそのキャベツを切り取り、並べて越冬させます。刃物を扱うので気を付けて、楽しくやりましょう。」と挨拶があった。続いて青年部員より作業の説明がされた後、各グループに分かれて部員指導のもと根切り作業がおこなわれた。

今年はキャベツが埋まるほどの積雪があり、雪をかき分けてからの根切り作業となった。大きく育ったキャベツの芯は太く、生徒たちは苦戦しているようであった。寒い中の作業にもかかわらず元気良く進め、1時間半ほどで、100玉を超えるキャベツの収穫を終えた。その後、座学としてキャベツの糖度を計り、他の作物との比較や、収穫したキャベツの試食を行った。

次回は、積雪の中から掘り取ったキャベツの糖度を計り、越冬前と越冬後の比較を行う予定。

多寄

より地区

士別市集落多寄地区で 粃殻収集事業を実施

粃殻の有効活用で 環境保全に取り組む



▲フレコンに詰められた粃殻



▲倉庫に集められた粃殻

中山間事業士別市集落多寄地区（保科隆志代表・構成95名）は9月から11月にかけて粃殻収集事業を実施している。平成23年より始まったこの事業は、粃殻の野焼きによる環境問題が深刻であることから、環境に配慮した農業生産を行う

い、農地保全、環境破壊防止に取り組む観点から実施され、今年で12年目を迎えた。粃殻の集荷に当たっては、専用のフレコンによる集荷方法と、バラ積込によって士別運送が集荷し、多寄地区の粃殻集荷施設に運搬し堆積される。

事業開始前には、共同で使用する専用フレコンの点検作業を、多寄町の農作業受託組織「サポートたよろー」（山本栄一代表）へ委託。事前に穴あきや破損がないか確認を行い、点検後は専用フレコンを協力生産者宅へ配送。9月13日より粃殻運搬が始まった。

今年度は地区の水稲生産者19件が協力生産者として参加し、水稲面積約174ha、粃殻量は約217tの集荷を見込んでいる。回収された粃殻は、主に地区酪農生産者の牛舎敷料として使用される。

同事業は、来年度以降も引き続き実施予定であり、粃殻の有効活用により農地保全・環境保全に取り組んでいく。

朝日

より地区

女性部が研修会を実施

家庭介護も学ぶ



▲冬季研修のようす



▲家庭介護教室のようす

11月7日、J A北ひき女性部朝日支部（佐藤百合子部長・部員11名）は、森のゆホテル花神楽にて冬季研修会を開催し6名が参加した。

研修会では、先般行われたJ A常勤役員との意見交換の内容や今後の活動について部長より報告がされた。また、本年より当J Aでもサービスを開始したアプリ「J Aコネクト」について事務局より説明を受け、アプリの理解を深めた。

帰りには、パティスリーフウに立ち寄り、ケーキなどを買い研修を締めくくった。

11月14日、J A健康寿命100歳プロジェクト対策協議会主催による「家庭介護教室」が経済センターを会場にWEBにて開催され、女性部朝日支部からも3名が参加した。

講習は、J A北海道厚生連の職員と札幌厚生病院の認定看護師が講師となり、認知症への理解と高齢者の身体に関するこの講義が行われ、家庭介護について学んだ。

ひびきあいの

の 広 場



皆さんからのお便り、楽しい写真等を募集しています。詳しくは15ページの「お便り募集」をご覧ください。掲載させていただいた方にプレゼントを差し上げます。
※写真データをメールにて送る場合には、住所・氏名にコメントを添えて、
kitahibiki.ja@kitahibiki.ja-hokkaido.gr.jp
までお送りください。

今

年の収穫もやっと終わって一安心。面積と雑用が増え苦労した一年。また冬のアルバイトを頑張ります。(O:70代男性)

忙しい一年になりましたね。冬もアルバイトとのことです。しっかりと休息をとりながら万全の体調で頑張ってください！

ひ

びきあいのおたよりコーナーとクロスワードパズルがとても楽しみです。ちょっとした頭の体操です。(S:女性)

クロスワードパズル、わかりそうでもからない時はスマホに頼りたくなりますが、自力で思い出せたときは嬉しいですよ！(笑) これからも回答お待ちしております！

収

穫作業もすっかり終わり塩分控えめに思いつつも漬物をつけています。(J:70代女性)

これからJA北びき管内でも越冬キャベツや雪の下キャベツの収穫が最盛期を迎えてきますので、ますます漬物をつけることが多くなるかもしれませんね(笑) 適度に漬けて、適度に食べましょう！

4

番目の孫の学習会発表会が終了。長かった送迎ももう少し。注文したランドセルも届きます！(T:70代男性)

淋しさもあり、楽しみでもありといったところでしょうか。送迎も限られた回数になると思いますので大事な時間を過ごしてもらえればと思います！これからランドセルを背負って元気に学校に行く姿を想像すると微笑ましいですね！

春

にもみまき、田植と農家のお手伝いをさせていただき、秋にはとてもおいしい新米をいただきました。微力ながら自分が携わったお米なので新米の味も格別でした。(O:50代女性)

苦勞をして育てたお米。食べる時はお手伝いをしていた時のことを思い出したのではないのでしょうか。農家がどんな苦勞をして私たちがお米を食べれているのか、多くの人に知っていただき、ありがたみを感じながら食べることが本当に大切なことだと思います。

11月号パズル

【当選者】

池田公子さん、高橋豊さん、板東信一郎さん、藤原トモ子さん、藤井淑江さん
【解答】「フユジタク」

1	フ	5	ユ	8	ウ	ガ	キ	14		21	ペ
		6	ダ	ン			15	ソ	18	フ	ア
2	イ	ンド	12	ア			19	タ			ル
			9	ウ	タ	16	ゲ	20			ツ
3	ハ	7	ム		13	マ	ジ	20			ク
4	ザ	ク	10	ロ		17	ユ				キ
				11	シ	ネ					ジ
											ヨ

編集後記

気が付けば2023年も残すところ後一か月を切りました。夏の暑い日々が近い最近のように感じます。秋の紅葉もあつという間に終わり、冬景色に変わりましたね。

今年も新型コロナウイルスが、5月から5類となり、自粛から解放され、旅行に行かれた方も多いのではないのでしょうか。僕も今年はお祭りに行き、屋台など楽しみました。しかし、ウイルスがなくなつたわけではないので、まだ感染症予防対策はしっかり行うことが大事です。またインフルエンザも流行しておりますので、こまめな手洗い、うがいを行い、万全な体調で新年を迎えましょう。

俳句

小春日の あてなくぶらり 歩みをり

大河 博子

メモにして やる事決める 初冬かな

鈴木 ゆき子

母逝きて ぬし亡き家や 冬来る

梅基 文子

インボイス 理解せぬまま 冬に入る

杉浦 とし枝

短歌

軽トラのガタゴトぶおーんと鳴る音に
合わせて踊る 荷台のだいこん

牧 あづさ

秋になり風邪をひいても軽ければ
明日も元気に楽しく過ごす

丹羽 泰子

山道の落葉は坂を軽々と
舞いつつ車の後を追いくる

池澤 和子

朝夕にストーブつけて暖をとる
あの暑かった夏が信じられない

竹ノ内 ひかる

新婚の旅行で訪いし金沢は
金婚旅行の候補のひとつに

鷺見 紀子

北ひびき農業協同組合 組合員資格確認のお願い

組合員の皆様の組合員資格に変動が生じた場合は、定款第14条（資格変動の申出）の定めるところにより、書面で当JA宛てにお届けいただくことになっております。

つきましては、資格区分・氏名・住所・勤務地等の届出事項に変更・修正などの変動があった場合はお手数ですが、当JAの最寄りの本所または基幹支所（支所）にて、届出事項の変更もしくは資格変更の手続きをお願い申し上げます。

なお、姓名変更、地区内移転等で資格変更が生じない場合もありますので、ご不明な点は下記までお問い合わせ下さいませようよろしくお願いいたします。

<手続きに必要なもの>

- 印鑑（取引口座の届出印）
- 本人確認ができる公的確認書類（運転免許証・健康保険証・住民票等）

《 お問い合わせ先 》

JA北ひびき 本所	Tel 23-2115	和寒基幹支所	Tel 32-2441
剣淵基幹支所	Tel 34-2011	多寄支所	Tel 26-2321
朝日支所	Tel 28-2011	上士別支所	Tel 24-2311

お知らせ

臨時理事会議案

日時 令和5年10月25日(水)

▼協議事項▲

議案第1号 令和5年産 青果物

共選原料概算払について

農産物出荷前渡金のうち南瓜・食用馬鈴薯・玉葱について返還し概算金で対応することとし、コンテナ1基あたり概算金は南瓜40,000円、食用馬鈴薯35,000円、玉葱40,000円を各々上限として生産者の申請により対応することを決定した。

議案第2号 令和5年産 種子馬

鈴薯規格選別原料概算払について

種子馬鈴薯規格選別について、受入重量から入れ目を控除し製品率、買入単価を乗じた金額を概算払いにすることに決定した。

議案第3号 理事に対する貸付に

ついて

理事に対する貸付4件について、組合員と同等の条件にて貸付けることを決定した。

▼報告事項▲

1. 10月末棚卸実査及び定期監査の日程について

(1) 10月末棚卸実査を11月1日(水)に実施することを報告した。

(2) 定期監査は、10月31日を監査基準日として、11月14日(火)～11月17日(金)に実施することを報告した。

2. 第8次中期計画の概要について
第8次地域農業振興計画及びJ A中期経営計画の策定にあたって体制、スケジュール等について報告した。

3. 畑地化2次採択に向けた保留者の扱いについて

1次申請状況及び1次採択結果の報告と、2次申請状況について北びびき全体で224人が申請していることの報告をした。

4. 令和5年産米大豆検査状況及び甜菜生産実績について

米・大豆は10月23日までに受検した実績を、甜菜は10月19日時点の生産実績を報告した。

JA北ひびきData

構成員/財務	10/31現在	(前年同月増減)	(対比)
◆正組合員数	1,511人	△ 62人	△ 3.9%
◆准組合員数	3,854人	△ 70人	△ 1.8%
◆組合員戸数	1,020戸	△ 48戸	△ 4.5%
◆出資金	37億18百万円	1億6百万円	2.9%
◆貯金	632億28百万円	3億33百万円	0.6%
◆貸付金	115億84百万円	△ 4億36百万円	△ 3.6%
◆長期共済保有高	1104億83百万円	△ 31億26百万円	△ 2.8%
◆購買供給高	77億10百万円	4億90百万円	6.8%
◆販売高	100億97百万円	△ 7億67百万円	△ 7.1%
(農産)	47億67百万円	1億94百万円	4.3%
(畜産)	53億30百万円	△ 9億61百万円	△ 15.3%



5. 固定資産の取得結果について
燃料自動車部の搬送車購入について、旭川トヨタ自動車(株)より取得したことを報告した。

6. 理事に対する資金の貸付に係る報告について
9月25日の理事会で承認された理事に対する貸付の実行状況について報告した。

7. その他
財務状況、組合員動向等を報告した。



新潟県 清津峡トンネル

秋の見所盛り沢山「弥彦菊まつり」へ行く

新潟・福島・栃木の旅

地元J.A発着 上川北部トラベルプラン



新潟県 彌彦神社

彌彦神社
菊まつり
11月1日[金]~
11月24日[日]



旅行実施日

2024年11月19日[火] ~ 11月22日[金]

※ご旅行の積立貯金をご希望されるお客様に関しましては各農協様金融窓口までお問合せくださいませ。
満期後旅行代金に充当させることができます。旅行不参加の場合は満期金額をお客様がお受け取りいただけます。

旅行代金

◆ 基本旅行代金 240,000円^(税込)

◆ 早割適用代金

早割の場合
令和6年8月までの申込の場合 25,000円^(税込)割引

215,000円^(税込)

(大人お一人)1室2名以上料金

旅行情報

申し込み締切日 2024年10月18日[金]

利用予定バス会社 国際興業バス(又は同等クラスバス会社)

募集人数 30名(最少催行人員20名)

添乗員 新千歳空港から旭川空港まで同行し旅程管理業務を行います。

食事条件 朝3回、昼4回、夕4回

利用予定ホテル ホテル日航新潟・白玉の湯華鳳・会津芦ノ牧温泉大川荘(又は同等クラス)

利用予定航空会社 JAL

地元JA発着 上川北部トラベルプラン

秋の見所盛り沢山『弥彦菊まつり』へ行く 新潟・福島・栃木の旅

スケジュール

日程	行程表	食事
11/19 (火)	各JA 9:30頃 → 昼食 砂川SA 13:00着/14:30発 → 新千歳空港 15:30着/16:35発 → 新潟空港 17:50着/18:20発 → 宿泊 ホテル 18:50着	昼 夕
11/20 (水)	ホテル → 清津峡トンネル → 昼食 新潟県内 → 吉乃川酒ミュージアム『醸蔵』 → 観光 月岡温泉 17:00着	朝 昼 夕
11/21 (木)	ホテル → 菊まつり開催中～ 彌彦神社 → 昼食 会津若松市内 → 観光 大内宿 → 宿泊 芦ノ牧温泉 17:00着	朝 昼 夕
11/22 (金)	ホテル → 参拝 日光東照宮 → 昼食 埼玉県内 → お弁当 羽田空港 15:50着/17:30発 → 旭川空港 19:10着/19:40発 → 各JA 23:00頃	朝 昼 夕

凡例：バス 航空 この行程表は現在の予定であり、天候・交通事情またはその他の理由により変更になることもございますので予めご了承ください。

宿泊地



ホテル日航新潟
TEL: 025-240-1888
新潟県新潟市中央区万代島5-1
(又は同等クラス)



白玉の湯華風
TEL: 0254-32-1515
新潟県新発田市月岡温泉134
(又は同等クラス)



会津芦ノ牧温泉大川荘
TEL: 0242-92-2111
福島県会津若松市大戸町大字芦牧
字下平984 (又は同等クラス)

詳しい旅行条件を記載した書面をお渡しいたしますので事前にご確認の上お申込みください。

ご旅行条件(要約)

お申し込みの際は、必ず旅行条件書面をお受け取りください。本旅行は次の条件によります。

- 1.旅行の契約について** この旅行は(株)農協観光北海道支店(札幌市中央区北4条西1丁目(北農ビル1階)観光庁長官登録旅行業第939号、以下「当社」といいます。)が企画する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型旅行企画契約を締結することとなります。その他の旅行条件は、下記によるほか、別途お渡しする取引条件説明書面、確定書面(最終旅行日程表)、及び募集型企画旅行約款によります。
- 2.旅行代金に含まれるもの** 旅行日程に明示した利用交通機関の運賃、旅行日程に明示した観光バス料金、ガイド料金、入場料、食事料金、宿泊料金、手荷物運搬料金(海外)、添乗員の同行費用。
- 3.旅行代金に含まれないもの** 前項のほかは旅行代金に含まれません。
- 4.旅行代金のお支払い** (1)申込金50,000円 (2)お電話等での申込みの場合は、お申込み翌日から起算して3日以内に、所定の申込書と申込金を提出していただきます。(3)旅行契約は当社が予約の承諾をし、申込書と申込金を受領したときに成立するものとなります。(4)旅行代金の残金は旅行開始日の前日から起算してさかのぼって、14日目に当たる日より前に、お支払いください。
- 5.取消料** 契約成立後、お客様の都合により契約を解除される場合、または旅行代金が所定の期日までにお支払いがなく当社が契約を解除した場合、旅行代金に対してお一人さまにつき次の料率で取消料または同額の違約料をいただきます。なお、複数人数のご参加で、一部のお客様が契約を解除される場合は、契約を解除されたお客様さまから下記取消料をいただくほか、ご参加のお客様さまから運送・宿泊機関等の(1台1室あたりの)ご利用人数の変更に対する差額代金をそれぞれ申し受ける場合があります。
- 6.申し込み締切日について** 2024年10月18日(金)を申し込み締切日とします。
- 7.特別補償** お客様が旅行中、被られた一定の損害については、特別補償規定の定めにより補償金・見舞金をお支払します。
●この旅行条件は2023年9月1日(金)を基準としております。

※ご旅行の積立貯金をご希望されるお客様に関しましては、各農協様金融窓口までお問合せ下さいませ。満期後旅行代金に充当させることができます。旅行不参加の場合は満期金額をお客様がお受け取りいただけます。

◆取消料(国内)

取消日	取消料(お一人様)	その他の旅行条件は、本条件によるほか別途お渡しする取引説明書面、契約書面、確定書面(日程表)、並びに当社旅行業約款(募集型旅行企画契約)によります。
旅行開始日の前日	①21日前に当たる日の解除(日帰り旅行にあっては11日目) ②20日前に当たる日以降の解除(日帰り旅行にあっては10日目)(③～⑥を除く) ③7日前に当たる日以降の解除(④～⑥を除く)	無料 旅行代金の20% 旅行代金の30%
④旅行開始日の前日の解除	旅行代金の40%	● 特別な配慮が必要な方 お客様が国内旅行行程中に、病気や急激かつ偶然な外来の事故でけがをした場合、多額の治療費、移送費等がかかることがあります。また、事故の場合、加害者への賠償金請求や賠償金回収が困難な場合があります。これらの治療費、移送費、また、死亡・後遺障害等を補償する国内旅行保険にお客様ご自身でご加入されることをお勧めします。国内旅行保険については、弊社係員にお問い合わせください。
⑤旅行開始日の当日の解除(⑥を除く)	旅行代金の50%	
⑥旅行開始後の解除又は無連絡不参加	旅行代金の100%	

●**個人情報の取り扱いについて** お客様がお申込みいただいた旅行において運送・宿泊機関等の提供するサービスの手配およびそれらのサービスの受領のための手続に必要な範囲内で利用させていただきます。

旅行企画・実施/お申し込み・お問い合わせ先

観光庁長官登録旅行業第939号
 株式会社 農協観光 北海道支店

〒060-0010 札幌市中央区北4条西1丁目(北農ビル1階)
TEL: 011-222-1151 FAX: 011-222-0765

総合旅行業務取扱管理者: 山下淳

(株)農協観光は
 ポンド保証会員
一般社団法人日本旅行業協会(JATA)の正会員です。

旅行業公正取引
協議会 会員

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う店舗での取引の責任者です。このご旅行の契約に関し、担当者からの説明にご不明な点がございましたら、ご遠慮なく総合旅行業務取扱管理者にご相談ください。

代理業

株式会社農協観光代理業 JA上川ビル旅行センター

(上川生産農業協同組合連合会)
〒070-0030 旭川市宮下通4丁目2番5号
北海道知事登録旅行業者代理業147号 総合旅行業務取扱管理者:宮越一彰
TEL: 0166-23-2495 FAX: 0166-23-2436

JA事業に関するお問い合わせ

JA北びびき

本所 ☎0165-23-2179 上土別支所 ☎0165-24-2311
多寄支所 ☎0165-26-2321 和寒基幹支所 ☎0165-32-2442
朝日支所 ☎0165-28-2011 網走基幹支所 ☎0165-34-2868

JA道北なよろ

本所 ☎01655-3-2521
名寄支所 ☎01654-2-4531
智恵文支所 ☎01654-8-2111

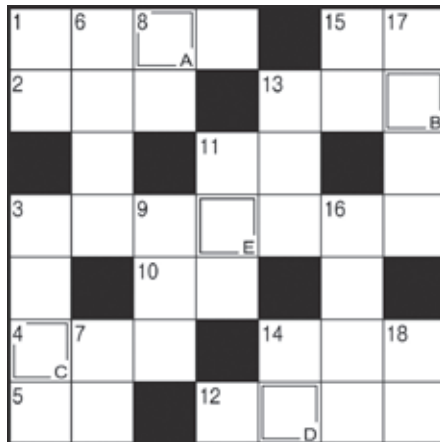
JA北はるか

本所 ☎01656-2-1602
下川支所 ☎01655-4-2562
中川支所 ☎01656-7-2821



頭の体操

クロスワードパズル



二重マスの文字を
A～Eの順に並べてできる
言葉は何でしょうか？

ヨコのカギ

- 1 サンタがプレゼントを入れます
- 2 パパー、ママー、どこー？
- 3 欧米のクリスマスには、この鳥の丸焼きがよく食べられます
- 4 大好きな歌手の——を見に行った
- 5 レンコンは根のように見えますが、実はこれ
- 10 「海のミルク」と呼ばれる貝
- 11 除夜の鐘を突けるところもあります
- 12 水や砂と混ぜコンクリートを作ります
- 13 サハラ、タクラマカンといえば
- 14 刃物で紙を加工して描きます
- 15 冬の京都市は——冷えするといわれます

タテのカギ

- 1 冬眠するものも多い大型の哺乳類
- 3 謎の多い浮世絵師、東洲斎——
- 6 その月の一番最初の日
- 7 寒い日に吐くと白く見えることも
- 8 授業中は慎んでくださいね
- 9 ワカメの根元に近い部分
- 11 ——予報によると来週は寒いらしい
- 13 建物が立っていない宅地
- 14 ——の細かい滑らかな肌
- 15 年越しに付きものの麺類
- 16 チン!と鳴らすと人が来ます
- 17 1号は東京と大阪を、2号は大阪と福岡を結びます
- 18 年賀状のイラストによく使われます。令和6年は「辰」です

ひびきあい

vol.238

発行/北ひびき農業協同組合

編集/総務部 総合企画課

令和5年12月5日発行

(毎月1回発行)

〒095-0021

士別市西1条8丁目701番地1

電話：0165-(23)-2115

FAX：0165-(23)-5162

http://www.ja-kitahibiki.or.jp/

印刷/文義堂印刷・出版

クロスワードパズルに答えて
応募して下さい。抽選で5名
の方に「大豆のお肉のキーマカ
レ」1食と「大豆のお肉のミートソ
ス」2食を。また、おたより
を紹介させていただいた方にも
「大豆のお肉のキーマカレー」各
2食をおたより紹介で重複され
た方とどちらかのみ採用とさせ
ていただきます。

■官製ハガキに、クイズの答え、住所氏名、年齢、職業、電話番号、わが家の出来事を記入の上、ポストに投函して下さい。尚、本誌へのご意見や、わが家の出来事は、ぜひ書き添えて下さい。また、掲載時にペンネーム等を希望される方はその旨書き添えて下さい。

■締め切り 令和5年12月25日
■当選発表 本誌2月号
■応募先 令和5年12月25日
〒095-0021
士別市西1条8丁目701番地1
JA北ひびき
プレゼントクイズ係

パズルの応募方法と
おたより募集

牛乳をもっと食卓に

今回の
メニュー

親子丼の新定番 ホワイト親子丼

出典○Jミルクウェブサイト「ミルクレシピ」

【材料】(2人分)

- | | | |
|-------------------|---------------------|-------------------------|
| ・鶏もも肉 …………… 100g | A | ・ミツバ …………… 適量 |
| ・塩・こしょう …………… 各少々 | 牛乳 …………… 200ml | ・ご飯 …………… 茶わん2杯分(約300g) |
| ・タマネギ …………… 1/2個 | 顆粒スープのもと(洋風) … 小さじ1 | ・粉チーズ …………… 大さじ1/2 |
| ・卵 …………… 2個 | 砂糖 …………… 小さじ1 | |
| ・バター …………… 10g | 塩 …………… 小さじ1/4 | |

●作り方

- ①鶏もも肉は1.5cm角に切って塩・こしょうを振る。タマネギは繊維に沿って薄切りにする。
- ②卵は卵白と卵黄に分け、卵白を軽く溶きほぐしておく。
- ③小さめのフライパンを中火にかけてバターを溶かし、鶏もも肉、タマネギの順に加えて炒める。焼き色が付いたらAを注ぎ、弱火で温める。
- ④煮立ってきたら②の卵白を入れて、ザクザクと混ぜて火を止め、ザク切りにしたミツバを散らしてふたをする。
- ⑤ご飯を器に盛って④のをせ、粉チーズを振り、②の卵黄をのせる。

士別警察署かわら版

飲酒運転の根絶 「なにで来た？」乾杯前の合言葉

- 1 飲酒運転は悪質な犯罪！**
飲酒運転は、悪質、危険な犯罪です。
飲酒は安全運転に必要な情報処理能力、注意力、判断能力を低下させ、運転に大きな影響を及ぼし、重大事故に繋がる危険性を高めます。
皆さん一人一人が「飲酒運転をしない、させない、許さない、そして見逃さない」ことを強く意識して、社会全体で飲酒運転を根絶する気運を醸成しましょう。
また、二日酔いでの運転も「飲酒運転」となりますので、飲酒した翌日に運転する場合は、身体にアルコールが残っていないかしっかり確認しましょう。
- 2 飲酒運転は、運転者以外にも処罰の対象！**
飲酒運転は、運転者だけではなく、運転者以外の人にも重い処罰があることを知っていますか。
車を運転する恐れのある人にお酒を提供したり、お酒を飲んでいる人に車を提供したり、飲酒運転の車に同乗した場合は、飲酒運転と同様に処罰の対象になります。
- 3 「ハンドルキーパー運動」で飲酒運転を防止！**
ハンドルキーパー運動とは、仲間と車で飲食店に行く場合、あらかじめお酒を飲まない人(ハンドルキーパー)を決め、その人が仲間を自宅まで送り届けることです。
お酒を提供するお店の方は、「お客さんが車で来店していないか」、「車で来店している場合は、ハンドルキーパーは誰なのか」を確認して、飲酒運転を防止しましょう。
- 4 飲酒運転情報の提供！**
北海道警察では、悪質な飲酒運転を根絶するため、「飲酒運転ゼロボックス」によるタイムリーな飲酒運転の情報や飲酒運転根絶に向けたアイデアを受け付けています。
是非、皆様のご協力をお願いします。

問い合わせは士別警察署まで
士別警察署(代)23-0110

【JA北ひびきのホームページ】

組合員の皆様に向けての情報発信と消費者や地域住民、市場関係者や実需者へ向けた、JA事業情報発信を行っています！



【組合員専用ページ】

JA北ひびきの「組合員専用ホームページ」では、日々JAから組合員の皆様へお知らせしているFAX文書などをリアルタイムで掲載しております。組合員専用ページへのアクセスには、ユーザー名とパスワードが必要です。お近くのJA職員にお問合せ願います。

